

31日  
総会

# 「障がいフォーラム」設立へ

## 権利条例制定も視野

# 連携深め政策提言も

身体、知的、難病関連など30団体

障害の種類を超えてさまざまな障害者団体が参加する「栃木障がいフォーラム(TDF)」が31日、設立される。身体、知的、精神障害のほか、発達障害や難病関連など大半の分野の県内団体が全体的に参加するのは初めて。約30団体が発足し、参加各団体間の相互理解のほか、国の障害者制度改革に伴う政策提言、将来的には障害者差別を禁止する「権利条例」の制定も視野に入れている。

TDFは、障害のある人の権利推進を目的とした障害者団体を中心としたネットワーク「日本障害フォーラム」の本県版。準備会事務局によると、都道府県レベルの常設組織としては全国で3番目の設立となる。

国は、国連での障害者権利条約批准に向けた障害者自立支援法に代わる新たな制度づくりを進めており、1月に設置した「障がい者制度改革推進会議」で当事者の意見を交えて議論している。TDF

はまず、参加団体それぞれの障害について理解を深める勉強会や研修を重ねていく。全国的には、北海道や千葉県で障害者への差別を禁じた条例が制定されている。TDFでも参加各団体が共通認識を持った上で、将来的には障害者の権利を擁護する権利条例の制定を目指すという。準備会事務局局長を務める日本てんかん協会

あるという社会モデルに移行しつつある。(設立を)障害のある人の生きにくさを知ってもらう機会にしたいと話す。

25日午前8時ごろ、JR宇都宮線の野木駅一古河駅間で、列車のシートに針が刺さっているのを乗客男性が発見した。22、23日には威力業務妨害の疑いで関連を調べている。

## JR、また座席に針

宇都宮線の野木一古河間

25日午前8時ごろ、JR宇都宮線の野木駅一古河駅間で、列車のシートに針が刺さっているのを乗客男性が発見した。22、23日には威力業務妨害の疑いで関連を調べている。

見し、JR東日本小山も、同センターで清掃中の別の二つの車両で座席に刺さった針が見つかっており、小山署は威力業務妨害の疑いで関連を調べている。

31日には設立総会を記念し、同日午後1時から宇都宮市若草1丁目のとちぎ福祉プラザで地域フォーラムを開催する。「障害者権利条約とわが国の政策課題」と題した基調講演のほか、県内の各障害者団体代表者をパネリストにしたパネルディスカッションも行う。定員130人。参加費500円(資料代)。

須烏山市の男性(当時60)に暴行し現金を要求したほか男性宅で監禁したとして、逮捕監禁罪などに問われた茨城県潮来市日の出8丁目、指定暴力団山口組系組員(事件当時)、無職川俣浪男被告(60)の論告求刑判決が26日、宇都宮地裁

(石田聡)

## 検察側、被告に懲役4年を求刑

那須烏山銃撃事件

2007年6月に那須烏山市の男性(当時60)に暴行し現金を要求したほか男性宅で監禁したとして、逮捕監禁罪などに問われた茨城県潮来市日の出8丁目、指定暴力団山口組系組員(事件当時)、無職川俣浪男被告(60)の論告求刑判決が26日、宇都宮地裁

事前申し込みが必要で先着順締め切り。問い合わせは準備会事務局、日本てんかん協会県支部内、電話028・627・9006。(井上豊裁判長)で開かれ、検察側は懲役4年を求刑した。弁護側は恐喝未遂と傷害罪の起訴内容について改めて無罪を主張した。検察側は論告で、関係者の供述などから「被告自身も暴行した」と主張。川俣被告を「首謀者」と指摘し、「暴力団特有の利欲的な動機に酌量の余地はない」と述べた。弁護側は「仲間との間に共謀はなかった」「被告は被害者を殴っていない」などと主張した。逮捕監禁の起訴内容は一部を認め、懲役1年程度を相当とする求刑意見を述べた。川俣被告は那須烏山